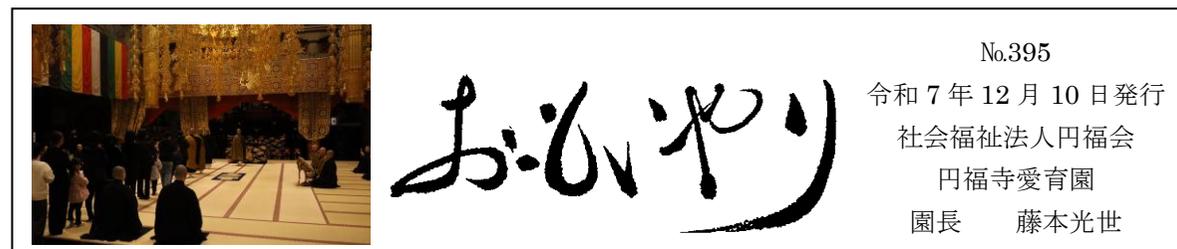


總持寺修行の旅です。大きな太祖堂で御開山様にお焼香をさせていただきました。



園長 藤本光世

大本山總持寺研修

今年で第5回目の大本山研修を大本山總持寺で修行することができました。

今年は、当日に体調を崩す子が出て、全員で参籠することはできませんでした。でも、4年ぶりの大本山總持寺は私たちが温かく迎えてくれて、特に千畳敷以上の太祖堂での朝課は、殿行・真行和尚さまの洗練された美しい進退とともに、心が洗われる思いをいたしました。太祖さまの真前に進んで、富澤ホーム長とともに焼香させていただいたことも、有難いことでした。



朝課のあとで、みんなで紫雲臺に参上して、紫雲臺下にお目にかかってお話しできたことも思い出になりました。紫雲臺下は、父をご存じで「はきものをそろえる」の詩をそらんじておられて、お話が盛り上がりました。子どもたちも、總持寺で一番偉いお方にお会いできてどんな

感想を持ったでしょうね。

職員や子どもの感想をお読みください。

便教会

ホーム長から、ホーム職員に心が伝わらず、まとまりが悪いという相談を受けました。具体的なことも耳にしました。愛育園の仕事は、子どもの心に手を入れて、善くすることです。心は見えません。もちろん、職員の心も見えません。子どもの心に手を入れる仕事こそ、この仕事なのですが、それは難しく反発も予想されるので、職員に心が無いと、その難しい仕事から逃げてしまうのです。逃げると楽です。でも、子どもは善くならない。逃げてしまった仕事は他の職員がやらなければならない。

これではいけないなあ、職員間の協力体制もできないなあと思いました。ふと頭をよぎったのは、逃げる職員は、自分の心に手を入れない。そして自分の心（見えない）と向き合っていないので、トイレ清掃はうわべだけで見えないところをやっていないのではないかとこの事でした。ホーム長に聞くと案の定やっていません。特に尿こしを持ち上げて、その中をやっていない。うわべだけのお掃除。仕事がうわべだけとお掃除もうわべだけになるのです。

職員が見えないところまで手を入れて隅々まできれいにするトイレ掃除をスタートさせたい。そのためには、一度トイレをピカピカにきれいにしなければならない。そう思って、もう10年以上も円福寺参禅会に参加している、牛山さんに便教会のご指導お願いしました。平日であるのに、快くお引き受けくださった皆さん、本当にありがとうございました。牛山さんは「たいへんやりがいのあるトイレでした。もう一度やりましょう。」と教えてくださいました。ありがたいです。

トイレ清掃には、いくつか思い出があります。紹介しましょう。

私がこの仕事に入ったのは平成20年10月1日で、あまりに荒れていた円福寺愛育園を立て直すために佐久長聖中学高等学校を7月で辞めてでした。私の学校経営の基本はトイレ清掃と学校中の清掃で、これを人が見ていない朝早くやってしまうことでした。そうすると、学校は見違えるようによくなるのです。不思議でしょう。愛育園は6時起床ですから、5時半前に出勤して、すべてのトイレ清掃と廊下の雑巾がけを続けました。その年の3月に、悪の中心にいた子がいくつかの高校を不合格になって、「なんでてめえなんて愛育園に来たんだ」と捨て台詞を遺して退所していきました。心が腐った人間は、きれいなどころにはいられないのですね。

もう一つ、ある高校の定時制のことです。その教室は生徒が掃除をしないのでいつも汚くて、困ったなあと思っていました。ある朝、意を決して一人できれいにお掃除してしまいました。きれいな状態が続いた時、職員に言われました。「定時制の生徒は汚いのが好きなので、お掃除をしないでください。」こりゃなんだと思いました。そんなことを言う職員がいることに驚きました。定時制の職員の心が腐っていたのです。だから定時制の生徒の心も腐っていてよくならないのです。この定時制では、大きな職員問題が起きていて、私の前任者が片付けたばかりでした。でも、それを許す雰囲気は残っていたのですね

さあ、一度便教会の指導を受けると、隅々までトイレ掃除ができるようになるでしょうか。できないのです。心が育っていないと、やらされてもできない。人が見ていないところではやらない。トイレ磨きは心磨きです。今回は、こちらで仕掛けてやってもらいました。トイレ清掃を続けることにより、心磨きができて自然と汚いところまで手が届く清掃ができるようになることを願っています。それが、愛育園の仕事につながるのです。

曹洞宗大本山總持寺 修行の旅

主任指導員 T・M

11月22・23日、今年で5回目となる修行の旅に行ってきました。お寺に泊まって、座禅や精進料理、雑巾がけ、また朝3時に起きて朝課に参加するといった経験をさせてもらうことができました。大変な事のように聞こえますが、みんなで泊まりで出かけて行くこと自体や普段できない経験をできる事が子ども達にとって楽しみな事になっています。

5回目となる今回は、横浜市鶴見にある曹洞宗大本山「總持寺」というお寺に行きました。こちらは3年前にも一度来ており、2回目となります。前回訪れた時に、非常に丁寧にまた手厚く私たちを迎え入れてくれて、厳しい修行というよりも私たちに寄り添って下さり、その中で修行ができたことが非常にうれしく感じ、また子ども達にとっても充実した時間になったという記憶から再度、總持寺さんに行くことにしました。

年度が始まって1学期、2学期と、子ども達は毎日の学校生活、そして園での規則正しい生活を本当に一生懸命に行っています。普段の生活に加え、8月にはキャンプ、9月には運動会、10月には愛育園祭と、大きな行事が立て続く中で子ども達が主体的に行事を作り上げて、そのすべてをことごとく成功させてくれます。今年の行事もどれも本当に素晴らしかったです。そんな頑張っている子ども達にご褒美の気持ちから生まれたのがこの修行の旅です。子ども達に少しでも楽しい旅になるように毎年計画を立てます。今年は旅行2日目に江の島の水族館に行きましたが、子ども達はお小遣いでぬいぐるみを買ったりといったことも含めて、とても楽しかったようです。

さて、この總持寺というお寺は私が円福寺愛育園に勤めさせていただく前に3年半の間僧侶の修行をさせて頂いたお寺です。先程の通り、外部から参禅者には非常に優しく対応して下さる總持寺さんですが、僧侶になる為に来る修行者となると話は別で非常に厳しい修行を求められます。一つ一つの作法が事細かに決まっていたり、睡眠時間もあまり取れなかったり、お掃除や座禅の時間が長かったり、食べ物も質素だし、テレビなど娯楽も一切ありません。指導役の先輩和尚さんに怒られる事も沢山あって、修行当初は辛くて辛くて仕方ありませんでした。大学で甘え切った学生生活していた事もあって修行生活にギャップがありすぎて本当に苦しかったです。また、もう一つある感情を持っていました。当時23歳だった私は「なんでこの年齢で、こんな制限されて雑用ばかりの日々を過ごさなければならぬのだろう。」と同年代の子と比べてしまって、惨めな気持ちで心が支配されてしまったのです。修行そのものの厳しさより、このモヤモヤとした気

持ちに苦しさを感じていました。そんな私の心を見透かしたように先輩和尚さんに「同い年の子は会社で働いてお給料をもらって好きなように生活して羨ましいって思ってるかも知れないが、あなた達の方が、普通に生きていけば経験できない様な生活をしているんだから前向きにやりなさい」と言われた事がありました。その言葉に「はっ」とした感覚を今でも覚えています。自分のいる場所がどんなところなのか、自分自身はどれくらい懸命に過ごしているか、そういった事に思いめぐらせる前に、人と比べて勝手に惨めな気持ちになってはいたずらに毎日を過ごしてしまっていたのです。厳しい修行をただ耐えているだけで何も身になっていない事に気づき、それはあまりにももったいない事だと思いました。そこから私は前向きに修行に取り組むようになりました。資格的に言えば僧侶になる為には1年間の修行で充分でしたが、修行が楽しくなって、居心地が良くなって結果3年半も修行する事になってしまいました。本当はもっと長く總持寺に居たかったくらいです。

今まで人に頼り切っていた事、有難みも感じていなかった事、自分自身がしっかり意志



持って生きる事が大事な事(発心)、それらを誤魔化して人や環境の事ばかり考えていてもダメな事。かけがえのない事を總持寺での修行で学ぶ事ができました。

總持寺と愛育園は違います。違いますが、私は通ずるものもあると思っています。人と比べてしま

って惨めな気持ちになってしまう子がいます。周囲に攻撃的になる子がいます。かわいそうだなと思う一方で、この愛育園での生活はやがて来る自立に向けて力をつけ、心を育てていく場所として素晴らしい場所なんだという事を気づいて欲しいし、私自身は、よりそういう場所にしていかなければという思いでいます。将来の自立を目指す時、それには子ども達自身が自分でやろうとする気持ちが不可欠です。国は家庭的養護を推し進めていますが、果たしてその先に子ども達の自立があるのか、愛育園で日々懸命に過ごしている子ども達の様子を見ていると疑問に思ってしまう。

また、私たち職員も一緒です。子ども達の将来に責任を持ち、その為に自分を成長させ、愛育園という場所に誇りを持って、前向きに仕事をしてもらえたら嬉しいです。

私自身の總持寺での修行生活について「厳しい修行」と言いましたが、厳しく感じたのは最初の3か月だけでした。「前向きにやろう」と決めてしばらくしてからは、ただただ何も考えずとも「楽しい修行」になっていました。

修行の旅で總持寺を訪れ、あらためて、愛育園を前向きに溢れた場所にしたい！という気持ちがみなぎりました。そんな気持ちにして下さった總持寺さんに感謝しています。

今年も残りわずかとなりましたが、子ども達、先生方と共に頑張っていきたいと思います。

總持寺研修旅行

まごころホーム長 I・S

11月22日23日に曹洞宗大本山總持寺へ修行の旅へ行ってきました。今回の旅のテーマは「愛語に溢れた旅」、「愛語」とはどんな意味があるのかをT先生に事前学習をしてもらいました。修行の旅も今回で5回目になります。初めて参加する子は精進料理ってどんなものなんだろう、座禅ってどんなことするのか？とウキウキわくわくしていました。またこれまで参加してきた子どもたちの中には座禅が好きな子もいたり、園内の行事で修行の旅が一番好き！と言ってくれる子もいます。去年はお留守だった年長さん2人も今年初めて修行の旅に参加した。總持寺に来るのは2回目になりますが、建物の大きさや広さに圧倒されました。また今回は外へ散策する時間もあり、建物の外からも總持寺を見ることができ、また新たな発見がありました。

1日目は法話をお聴きし、2日目は座禅と朝課にも参加させていただきました。年長さんたちは静かに参加できるかな～？と少し心配でしたが、ちゃんと周りの雰囲気に合わせて行動できており、ものすごい成長を感じました。私は修行の旅の中で座禅の時間が好きです。無心になれるまでにはまだまだ修行は足りませんが、頭を休めて心を休めて静かに座る時間がとても心地良いです。日常生活では体験できない貴重な時間を過ごすことができ、子どもたちにとっても私にとってもとても良い時間を過ごすことができました。

總持寺を後に新江ノ島水族館にも行ってきました。海が見えると「見てー！」と子どもたちも大喜び。富士山も見ることができました。水族館では自分へのお土産としてイルカやペンギンのぬいぐるみを買え大満足な表情でした。

「愛語に溢れた旅」をテーマに2日間子どもたちと過ごしましたが、所々に見える相手への思いやりのある行動や、相手を気遣う姿がありました。また修行の旅を通して子どもたちの成長に繋がってくれたら嬉しいです。



修行の旅

あおぞらホーム SK

11月22日、23日の二日間、横浜にある總持寺へ毎年恒例となった参禅旅行に行ってきました。今回で五回目ということもあり、子どもたちからは不安な様子はほとんど見られず、出発前から「楽しみ！」という声が多く聞こえてきました。總持寺では、長い廊下の雑巾掛けや坐禅、そして精進料理と、修行僧の方々と同じような体験をさせていただきました。どの活動も慣れたもので、子どもたちが落ち着いて、そして楽しそうに淡々と取り組んでいる姿がとても印象に残っています。2日目には新江ノ島水族館にも立ち寄り、普段は見ることのない海の生き物を興味津々で見て回っていました。お土産選びでは、「どっちがいいと思う？」と職員に相談しながら一生懸命に選んでいる姿が微笑ましく、子ども一人ひとりの個性もよく表れていました。

修行のためハードなスケジュールではありましたが、子どもも職員も充実した時間を過ごすことができました。普段の園での生活がしっかり身につけていることを改めて感じられる、思い出深い二日間となりました。

第5回大本山研修旅行

まごころホーム N.R

11月22、23日に、神奈川県にある「曹洞宗大本山 總持寺」に行きました。

今回の修行の旅のテーマは「愛語に溢れた旅」です。愛語とは、仏教の言葉で「慈愛の心から発せられる、優しく思いやりのある言葉」という意味です。相手への敬意や心遣いがこもった言葉のあり方そのものを意味するそうです。旅行前から愛語を子どもも私自身も意識して過ごしており、旅行中は慈愛の心を持ち、思いやりや笑顔を大切にして過ごすことができました。

まず最初に諸堂拝観をさせていただきました。とても歴史のある大きなお寺ということもあり、とても時間をかけて一周しました。見学させていただいた一つ一つに意味があり、とても有意義な時間を過ごすことができました。子どもたちは、とても熱心に話を聞いている様子がありました。また、お寺のことだけではなくそこで修行をしている修行僧の方の過ごし方や仕事なども知ることができ、様々な視点から見学することができました。薬石（夕食）や小食（朝食）では、精進料理をいただきました。肉や魚を使っていないため、どんな料理が出てくるのか、ちゃんと食べられるのかと子どもも私自身も心配していました。ですが、想像していたよりも品数は多く、とてもおいしかったです。年長さんのFちゃんは



初めて食べる精進料理にすごく興味を示しており、「これは何？」と聞いてきたり、「食べてみる」と意欲的に食べたりしていました。苦手な物もありましたが、静かにしっかり食べられており、感心しました。その後感想を聞くと、とてもおいしかったと言っており、食べたことないものでも食べようとする姿勢などが見られ、成長を感じました。その後、法話を拝聴しました。総持寺にまつわるお話をしていただきました。諸堂拝観の際には知り得なかったお話をたくさん聞くことができました。

2日目は、暁天（坐禅）からスタートしました。所定の体制に座り、40分ほどさせていただきました。初めての体験だったので、自分が無になれるのか不安でしたがいざやってみると意外にあっという間の時間でした。無になって何も考えない時間は普段なかなかできないので、こうして意識して無になることは心と体のリフレッシュにもなりとても有意義な時間でした。子どももしっかりと40分同じ体制で参加できており、良かったと思いました。その後、朝課 御開山

拝登に参加させていただきました。たくさんの修行僧の方が参加しており子どもたちはすごく緊張していました。お焼香をさせていただきましたが、子どもたちはしっかり務めることができていました。最後に作務をさせていただきました。百間廊下という長さ164mもの長い廊下をみんなで雑巾がけをしました。見本として修行僧の方がやってく



ださったのですが、とても軽やかで早いスピードでしており、驚きました。実際に子どもと職員が体験しましたが、想像以上に体力を使い、すぐに疲れてしまいました。これを毎日やっている修行僧の方はすごいなと感心しましたし、毎日続けているからすごく綺麗な状態が保てているのだなと思いました。子どもたちはとても体力があり、何回も往復して掃除していました。掃除はあまり得意ではないですが、掃除すること、続けることの大切さを学ぶことができました。下山したあとは、新江ノ島水族館に行きました。クラゲやイルカ、アザラシなどの生き物を見ることができ、子どもたちはとても楽しんでいました。短い時間ではありましたが、子どもたちの楽しそうな表情を見ることができ、良かったです。

この旅行を通して、愛語を意識し普段なかなか触れられない分野を知ることができました。また、様々な場面で、子どもたちの成長や真剣に取り組んでいる姿、楽しそうな姿を見ることができ良かったです。今後も愛語を意識して子どもたち関わって生きたいと思います。

修行の旅 児童感想

修行の旅に行きました。今年は、総持寺に行きました。お寺の中を見学しました。迷路みたいですごかったです。あと、精進料理はお肉やお魚がなくてもとてもおいしかったです。

二日目は新江ノ島水族館に行きました。たくさんの海の生物がいました。中でもぼくは、エイがしっぽがかっこいいなって思いました。また来年も行きたいです。

小4 Hくん

11月22日～23日に修行の旅がありました。楽しかったです。

まず、バスに乗ってお昼ご飯を食べる場所に行きました。昼食は野菜ラーメンを食べました。野菜が多かったです。おいしかったです。その後はバナナミルクを飲みました。おいしかったです。

15時に総持寺に到着しました。そうしたら荷物と一緒に総持寺の中に入りました。そして部屋に入りました。結構広かったです。そのあとすぐに諸堂拝観がありました。玄関の所はもともと食堂とか仏様の所を通る時は合掌一礼することとかいろいろ知れました。諸堂拝観が終わったら部屋に戻りました。そして17時半にご飯を食べました。全部は食べきれませんでした。そして箸などを部屋に置いて18時半に法話がありました。法話が終わったら部屋に戻ってからすぐにお風呂に入って20時20分ぐらいに出て部屋に戻って布団を敷いて歯磨きをして寝ました。朝、3時半に起きました。そして4時15分から坐禅をやりました。大変でした。5時から朝課をやりました。その後6時45分から朝食と百間廊下のそうじをやりました。総持寺で修業をやってみて毎日やっているお坊さんはすごいなと思います。

総持寺の次は新江ノ島水族館に行きました。アザラシが海の生き物で一番いいなと思いました。あと水族館のおみやげでアザラシのぬいぐるみがなかったのでアシカのぬいぐるみとブービーなる人形を買いました。よかったです。

旅の最後に海老名 SA で昼食を食べました。しょうゆラーメンと食べ歩きで牛タンの串焼きとだんごを食べました。どれもおいしかったです。

今年の修行の旅も楽しかったです来年も楽しみです。

小4 Aくん

11月22日に曹洞宗大本山総持寺に行きました。昼食には三芳サービスエリアというところで、しょうゆラーメンを食べました。おいしかったです。

午後3時に総持寺について最初にやったのが諸堂拝観というお寺の中の見学をしました。5時半に夕食がありました。6時半には法話で総持寺に関する話を聞きました。8時には大浴場に入りました。その後部屋に戻って少し遊んでから寝ました。

2日目は3時半に起きて坐禅や朝課、百間廊下のそうじをしました。朝は早くて大変だったけど良い経験になりました。

総持寺以外にも新江ノ島水族館に行きました。タッチプールではネコザメにさわれてうれしか

ったです。あと、お土産屋さんでウミウシなどのぬいぐるみを買えてよかったです。

今年もいい思い出ができたので良かったです。

中1 Kくん

第5弾修行の旅、曹洞宗大本山總持寺に行ってきました。テーマは愛語に溢れた旅です。愛語とは、仏教の言葉で慈愛の心から発せられる、優しく思いやりのある言葉という意味です。相手への敬意や心遣いがこもった言葉のあり方そのものを意味します。僕はこの2日間、とっても楽しく充実した旅でした。バスの中では、みんなが楽しめるレクをやったり、楽しい話をしたりしました。三芳 SA で昼食を食べました。ぼくはバナナミルクドリンクを飲んだり、スタミナカルビ丼を食べました。とてもおいしかったです。その後大黒 PA に行きました。大黒 PA では、カッコいい車がいっぱいありました。ぼくは、GTR35 が好きでとても興奮したことを今でも覚えています。總持寺に着いたらまず山門が見られます。山門はとても大きかったです。だけど中に入ってみたらもっとでかい建物がいっぱいありました。ぼくが泊まる建物は三松閣のところに泊まりました。とてもきれいで旅館みたいでした。中は広く地下までありました。ぼくらは地下1階で精進料理を食べました。おいしかったです。だけど毎日魚や肉なしはきつuito と思いました。部屋に戻ったら、お菓子やパンを食べたり、ゲームをして遊びました。朝3時に起床し坐禅をして、その後朝課をしました。ぼくは朝課でお坊さんが集まってお経を読んでいるところがかっこいいと思いました。その後一番偉いお坊さんに会いました。とてもやさしかったです。

新江ノ島水族館にも行きました。かわいい海の魚がいっぱい見れて良かったです。自分のお土産はカワウソのキーホルダーやチンアナゴの人形やほたるいかを買いました。いっぱい買ってよかったです。

その後、海老名 SA での昼食で 100%HOME MADE HAMBABUGER のダブルのハンバーガーを食べました。その他に食べ歩きでチキンステーキ串やもも肉串を食べました。とてもおいしかったです。とても充実した旅でした。

高2 Kくん

『總持寺旅行』

小5 K・M

大本山總持寺に行きました。バスの中でみんなとおやつこうかんをしました。おいしかったです。次にバスでクイズやしりとりをしました。楽しかったです。總持寺につくと、みんな協力して荷物を運びました。わたしたちの部屋はとても広かったです。ベランダから美しい空が見えました。部屋で記念の写真を撮りました。お寺の中を見学しました。百間廊下はとても長かったです。夕食（精進料理）はとてもすぐくて食べきれませんでした。次の日の朝ごはんはとてもおいしそうでした。私の好きなものが出ました。おいしかったです。その後坐禅をしました。急に足が痛くなりました。だけど大丈夫でした。楽しかったです。次

に行ったのは水族館です。最初に、ペンギンとアザラシを見に行きました。ウミガメとカワウソも見ました。とてもかわいかったです。次にイルカを見ました。とてもかわいかったし、ジャンプもうまかったです。タッチプールでヤドカリとネコザメをさわりました。さわられて楽しかったです。おみやげはぬいぐるみとキーホルダーを買いました。帰りのバスで寝てしまいました。来年も楽しくいきたいです。

『修行の旅 大本山總持寺』

中3 O・S

神奈川県横浜市にある總持寺に行ってきました。修行のテーマは「愛語に溢れた旅」でした。1日目は總持寺にバスで向かいました。15時に到着し、修行が始まりました。お寺の中を見学しました。一番驚いたのは百間廊下です。想像以上にとても長くて雑巾がけをしたときはとても疲れました。17時半からは薬石（夕食）でした。夕食は精進料理を食べました。魚や肉を一切使っていないのに、とてもおいしくて豪華でした。ありがとうございます。二日目は、神奈川県藤沢市にある新江ノ島水族館に行きました。相模湾大水槽や、ペンギンやイルカも少し見れました。タッチプールでは、ネコザメやヒトデを触りました。少し怖かったけどネコザメはざらざらしていて、ヒトデはプニプニしていました。貴重な体験でした。この二日間はとても貴重で思い出に残る日々でした。とても楽しかったです。

『研修旅行』

中2 M・H

今年は、總持寺に行きました。とても大きな敷地で、中もとても広くてびっくりしました。でも、お部屋もきれいで、廊下なども磨き上げられていてとても光ってきれいでした。毎日、廊下の雑巾がけをやっているなんてすごいなと思いました。また、朝早くに起きて坐禅や朝課なども行った後に自分の配置について自分たちでご飯を作ったり、長い廊下を掃除したりしていて、とても大変だなと思いました。しかし、そんな細かいこともちゃんとやっていて毎日大変だと知りました。水族館では、クラゲなど普段見られないものが見れてすごいなと思いました。また、お土産コーナーも充実していてたくさんのかわいいぬいぐるみや文房具があって、どれにしようかととても迷いましたが、かわいいぬいぐるみを買って良かったです。今回の旅行ではテーマが『愛語』だったけど、しっかりそれを意識していたので、これからもみんなに思いやりを持って行動できるように心がけてやっていきたいです。

『5回目の修行の旅』

高2 N・M

今年で5回目の修行の旅は、3年前に行った神奈川県の「總持寺」に行ってきました。今回は「愛語に溢れた旅」というテーマに始まりました。愛語を使うというのは簡単そうに思えて意外と難しかったです。今後も言葉を選びながら発していきたいと一つ学びました。お寺

<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

に着いた後は諸堂拝観をしたり、法話を聞いたり、部屋でリラックスしたりすることができて良かったです。自分的に一つ成長したと思うのは食事です。3年前は苦手なものがあると人にあげてしまっていました。今回は苦手なものも食べてみるということができたので良かったです。2日間とも完食しました。2日目は3時半に起床し、頭が回らない中坐禅をしました。無心になることは難しかったですが、坐禅をできてよかったです。また、2日目は新江ノ島水族館にも行きました。大水槽にはイワシの群れやサメがすごかったです。サメのお腹には赤ちゃんもくっついていてかわいかったです。おみやげはメンダコのキーホルダーを買いました。お気に入りです。この2日間を通して、相手への思いやりだったり、食事へのありがたさなどたくさんのお話を学ぶことができて良かったです。毎年当たり前に行ける行事ではないということを入れ、感謝の気持ちを持ちたいと思いました。思い出に残る2回目の總持寺になって良かったです。ありがとうございました。

トイレ掃除便教会

あおぞらホーム Y.S

先日の職員会の日には職員研修としてトイレ掃除の講習会がありました。始めはトイレ掃除に講習会なんてあるのか。と思っていましたが講師の先生方が早くから色々な道具をきれいに並べて準備してくださっているのを見てただならぬ雰囲気を感じました。そして、いざ講習が始まりました。壁掃除、換気扇、ドア上のサン、便器、床、便器の中の尿こしという部品など一つ一つの細かい所まで手を入れていきます。さらにそれぞれの個所によっても掃除の仕方が細かく分かれています。すると次から次へと汚れが出てきて何度雑巾を絞っても足りず、いかに汚れが蓄積されていたのか、という事がわかりました。今まではぱっと見で見える表面的な部分しか掃除をしていなかったこと、顔を近づけてよく見ると気が付かなかった汚れや場所が浮かび上がってきました。始めは掃除の仕方に対しての講習会だと思っていましたが掃除中に自分が現在上手くいっていない子や自分の弱さなど色々と考えながら掃除をしているとだんだんと、子どもたちとの関わり方についても同じだな、表面的な関りでは気づけない事が多い事、もっと近づいて関わることで気持ちの汚れなどにも気づけることが出来るんだな、汚れの落とし方についても色々なアプローチがあり工夫が必要なんだな。という事に気づかされ技術的な講習会ではない事がわかり衝撃を受けました。そんなことを考えながら講習が終了した後のトイレはとてもきれいでした。最後の片付けの際にも講師の先生から「片付けとは、単なる片付けではなく次に使う為の準備である」という話もいただき何事も最後まで気を抜いてはいけないと思ってもいい締めくくりになりました。今回のトイレ掃除を通して職員としての在り方や自分自身の弱さなどに気づくことが出来ました。今回の気づきを忘れないよう引き続きトイレ掃除を継続していきます。

便教会トイレ掃除体験（あおぞらホーム SK）

私は掃除について、いわゆる一般的にやる方であると感じていました。掃き掃除や雑巾がけ、ゴミ出しなどのことは率先して行うようにし、トイレ掃除もきちんとやっているつもりでした。

(令和7年12月10日発行 月刊「円福」544号付録)

しかし、便教会の方々の指南の元の掃除は全く私の知らない物でした。

例えば、男子便所の小便器の中を持ち上げられること、またそれを掃除できること。壁などの拭き方や道具の種類。綺麗にしていくと感じる気持ちも全てが初めての体験でした。始めるまでは、大変そうだなと考えており、実際始まると苦勞することは多かったです。しかし、終わってみると真剣に取り組むことで得られる達成感などが他の物では感じられない物でした。今後の掃除人生に大きな変化を得ることができました。

まごころホームだより

まごころホーム M・H

寒さが段々と厳しくなってきました。子どもたちと公園に遊びに行くと、木々が鮮やかに色付き、赤や黄色に染まった葉を遊びに使ったり、綺麗な葉を持ち帰ったりと今しかできない遊びを楽しんでいる姿があります。

まごころホームには、小学1年生の女の子が2人いますが、今年七五三を迎え、11月にお祝いを行いました。着付けのできる職員にお願いし、着物を着ました。赤と緑の色鮮やかな着物に身を包み、髪飾りを付け、いつもと違う姿はとても可愛らしく、2人とも嬉しそうでした。まごころホームの子みんなに可愛いねと言ってもらい、少し恥ずかし気でした。神社にお参りに行きました。2人のこれからの健やかな成長を願っています。

世間では、インフルエンザ等の感染症が流行期を迎えています。園内でも、インフルエンザに罹る子どもたちや職員が出てきています。子どもたちは寒い中毎日登下校しているので、日々の体の疲れも溜まってきているかと思えます。免疫力を高めながら愛育園全体で予防していけるよう、こまめな手洗い、うがいに取り組んでいきたいと思えます。

今年も早いもので残すところあと一カ月を切ってしまいました。いい一年のまとめができるよう、一日一日を大切に子どもたちと過ごしていきたいと思えます。

調理室だより

調理員 K.N

実りの季節、食欲の秋、その年の収穫物「初物」が葡萄や柿の果物だったり野菜などこの恵みを大切にしていきたいですね。

★今月の誕生日メニュー★

4日 Mさん 焼豚炒飯、ヤンニョムチキン、シーザーサラダ、フルーツパフェ



<http://enpukuji-aiikuen.com/> ホームページでもご覧ください。

(令和7年12月10日発行 月刊「円福」544号付録)

11日 Hくん 海鮮丼、茶碗蒸し、たことバジルのサラダ、チョコレートケーキ
27日 Aくん 醤油ラーメン、麻婆茄子、さけチーサラダ、プリンアラモード